

AMD FPGA/SoC用 GigE Vision® V2.0 Rx FPGA IPコア

GigE Vision® Rx FPGA IPコア

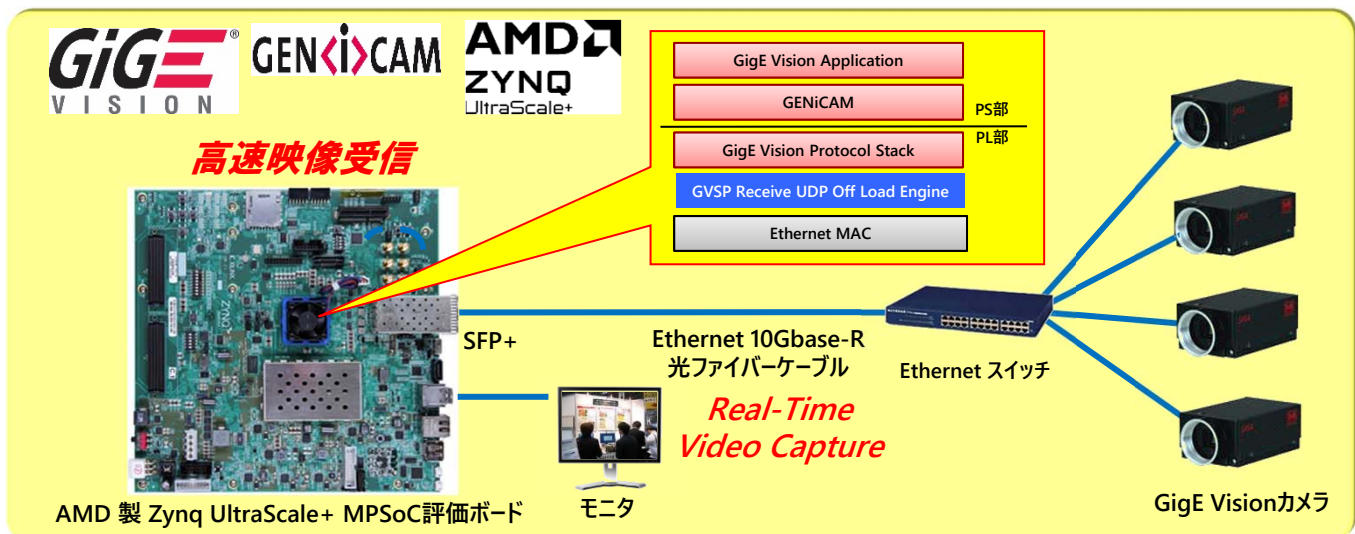
Zynq® UltraScale+™ MPSoCへの受信側GigE Vision® プロトコルかつ GENiCAM対応により、組込み機器へGigE Visionカメラ画像受信を収容することが 適応型SoC 1chipで実現可能!!なおかつ、高速で信頼性の高い映像伝送を可能にします

特徴

- GigE Vision® V2.0プロトコルによるイーサネット映像リアルタイム受信が可能。
- GigE Vision® V2.0の標準機能の他、Pending Acknowledge、Scheduled Action Command、All-in Transmission Mode Packetなどに対応。
- 1G/10Gbpsのイーサネットに対応。最大10Gbpsの帯域をフルに活用した映像伝送を実現。
- OKIアイディエス製 UDPオフローディングエンジン(UoE)搭載。GigE Vision®プロトコルの制御は、全てFPGA内部 (MicroBlaze™) で処理。ハードエンジン (UoE) + GigE Vision® スタックにより高速映像受信を実現。
- 適応型SoCは、Zynq UltraScale+ MPSoCに対応 (※)。
- AIA's Machine Vision協会に正規認定されているFPGA/SoCソリューション。
- 複数のGigE Vision®カメラ収容に対応。

(※)FPGAデバイスにより、対応可能な伝送速度は異なります。また、記載した以外のFPGAにも対応可能ですので、ご相談ください。

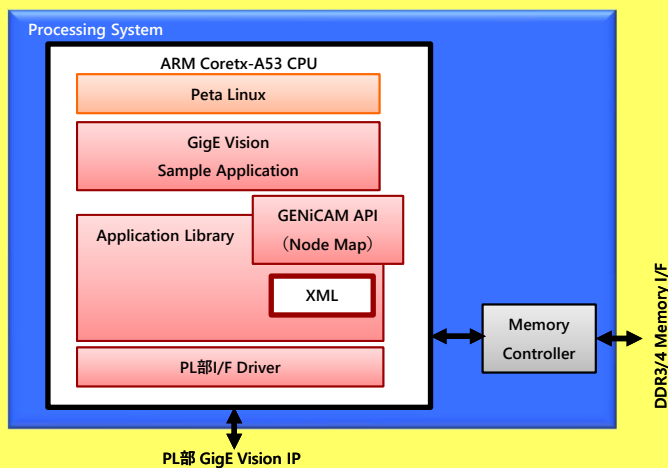
GigE Vision® システム構成例



ハードエンジン (UoE) + GigE Vision® スタックにより高速映像受信可能。
組込み機器へのGigE Vision対応を 適応型SoC 1 Chipで実現!

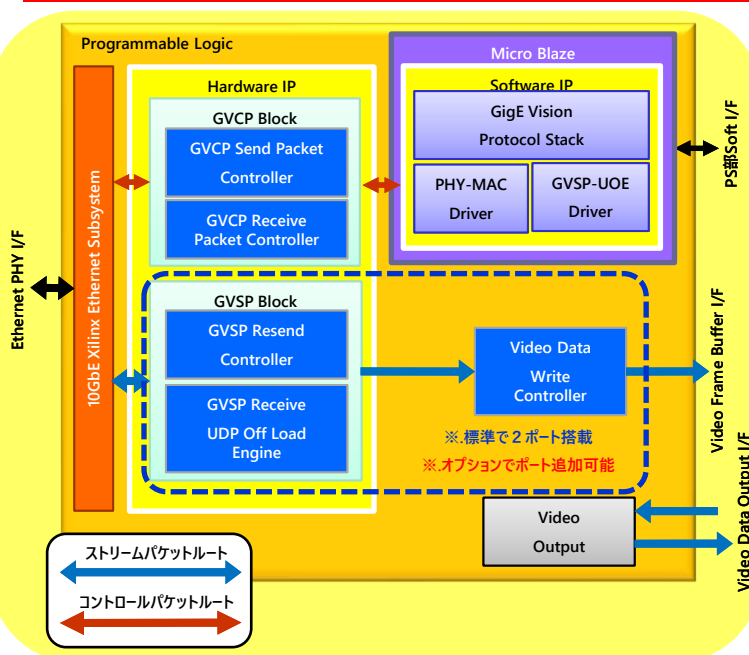
▶ GigE Vision受信(GENiCAM)ソリューション構造図

Zynq UltraScale+ MPSoC PS部構成図



- ▶ カメラ制御は、Camera Description File (XML)を解釈したGeniCam API (Node Map)を経由して制御可能。
- ▶ カメラから送られる映像Streamは、PL部のGVSP UDPオフロードエンジンが素早く切り離すのでStreamの受信率を向上可能。
- ▶ 切り離された映像StreamはARMを介さず、直接Video Frame Bufferへ転送するのでCPU負荷を低減
- ▶ ARMのOSはAMD標準のPeta Linuxを採用。
- ▶ OKIアイディエスは、Peta Linuxの推奨デザインサービスパートナーであり、サポート面も安心。

Zynq UltraScale+ MPSoC PL部構成図



- ▶ OKIアイディエス製“GigE Vision UDP Offloading Engine”を搭載し、GigE Visionプロトコルパケットの高速映像受信を実現。
- ▶ MicroBlaze上に“GigE Visionプロトコルスタック”、“MACドライバ”、“GV-UOEドライバ”を実装し、全てのGigE VisionプロトコルをPL部で終端。
- ▶ GigE Visionプロトコルにより、パケットロストの欠損データ補完を行い、高安定性を実現。
- ▶ EMACには、AMD製 1G/10G/25G Ethernet Subsystem を使用し、データリンク層の制御を実施。

提供製品

- FPGA/SoCデザインに必要となるIP + リファレンスデザイン + PS部/PL部の全ての開発環境とマニュアルをご提供します。

サポート体制

- 国内製IPによる完全日本語サポート（電話／メール／各種マニュアル全て）
- 技術サポートは全て弊社技術者が直接対応いたします。

OKI 株式会社 OKIアイディエス

お問い合わせ／資料請求

〒370-8585 群馬県高崎市双葉町3番1号 TEL: 027-324-2139 (直通) 営業部 FPGA担当

URL <https://www.oki-oids.jp/>



製品リンクはこちら

2023年 5月 r1.4